

Jumina 教授と Roto 准教授の講演会を行いました。

2018年4月19日(木)16時30分～18時30分に理工学部9号館6Fセミナー室において、インドネシアのガジャ・マダ大学数理自然科学部化学科 Roto 准教授による Design of Ag Nanoparticle and Its Application in Chemical Sensings (化学検出における銀ナノ粒子の設計とその応用)、ならびに同大同学科 Jumina 教授による Development of Calix[4]resorcinarenes from Indonesian Essential Oils and Their Application as Antioxidant, Sunscreen, and Heavy Metal Adsorbent (インドネシア産精油からのカリックス[4]レソルシナレンの開発と抗酸化剤、日焼け止めクリーム、重金属吸着剤としてのそれらの応用)に関する講演会を行いました。

インドネシアのガジャ・マダ大学数理自然科学部化学科の Roto 博士は銀ナノ粒子にチオカルバミン酸を組み込んだナノ粒子の開発とその粒子を分光分析に応用した鉛センサー開発について講演されました。チオカルバミン酸はソフトな金属と強い相互作用を示すため、銀粒子や対象となる鉛イオンと結合し、これの基づき、消光程度をセンシングする手法について説明されました。

Jumina 教授はインドネシア資源を利用した機能性物質の開発がご専門であり、椰子残渣から回収されるフェノール類の縮合反応を利用してカリックスレソルシナレンという大環状化合物の合成とさらなる化学修飾について講演されました。得られたさまざまなカリックスレソルシナレン誘導体について、抗酸化剤、日焼け止めクリーム、重金属吸着剤としての機能について報告され、合成した誘導体が有効であることが述べられました。合成戦略や機能化に関する戦略などについて質問がなされ、活発な議論がなされました。

当初の予定と異なり、後援者の順番が入れ替わりましたが、両講演者ともに1時間近くの講演と質疑を行っていただき、参加学生にも非常に有意義でした。

(報告者 大渡)



Roto 博士による講演の様子

